

## 技術者一覧（河川）

| 頁   | 発注事務所名  | 部門 | 分野  | 工事・業務名                  | 受注業者名            | 技術者氏名 |
|-----|---------|----|-----|-------------------------|------------------|-------|
| 117 | 長島ダム管理所 | 河川 | 測量  | 令和3年度 長島ダム定期貯水池測量業務     | 中日本航空 株式会社       | 山本 敦也 |
| 118 | 長島ダム管理所 | 河川 | その他 | 平成31年度 長島ダム管理支援業務       | 一般社団法人 パブリックサービス | 長嶋 洋司 |
| 119 | 長島ダム管理所 | 河川 | その他 | 令和3年度 長島ダムフォローアップ資料整理業務 | 一般財団法人 水源地環境センター | 伊藤 拓也 |

# 令和3年 長島ダム定期貯水池測量業務



発注者:長島ダム管理所

受注者:中日本航空株式会社

## <工事(業務)の目的及び概要>

本業務は、長島ダム貯水池内の貯水池容量及び堆砂状況を確認するため、堆砂測量を実施するものです。主に、航空レーザ計測及び音響測深技術により地形データを取得し、取得が困難な箇所は現地(地上)で測量を行います。



**山本 敦也**  
2020年入社

ダムや河川等、様々な分野の航空レーザ測量業務のうち、主に現地(地上)での測量作業に携わっています。



航空レーザ測量の作業状況



ラジコンボートによる音響測深技術と河川測量の作業状況

## ・現場での私の役割

測量の精度を高めるために必要となる基準点・検証点等の測量を現地で行い、社内では取得データの整理や解析等を行っています。自然地形は刻々と変化するため、現地状況の把握、臨機応変な判断が必要です。その状況に応じた最適な測量手法の選定を行い、安全を最優先する姿勢を大切にして業務に取り組んでいます。

## ・測量業を選んだ理由

大学時代、森林生態分野の研究をしていた際、従来の調査手法が、レーザ(LiDAR)技術を用いた詳細な三次元の測量に置き換わっていることを知り、衝撃を受けました。そのことをきっかけにレーザ測量技術に興味を持ち、計測から解析処理・成果整理までの一連の測量作業に触れたいと考え、当業種を希望しました。

## ・未来をつくる若手技術者の皆様へ

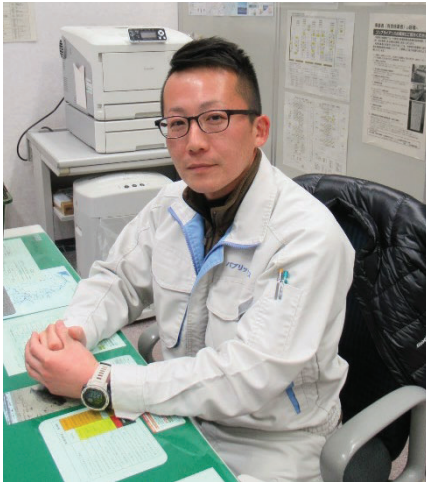
現在、リモートセンシングの発達やGIS(地理情報システム)の普及によって、空間情報の利用が加速したことで、測量で扱う領域が広がりを見せています。そのため、現在の測量では「様々なセンシング技術を駆使して計測する」また「計測によって様々な分野の仕事に関われる」という面白さがあると感じています。

分野を問わず若手技術者が増え、互いに刺激し合う仲間として一緒に仕事ができることを期待しています。

# 平成31年度 長島ダム管理支援業務

発注者:長島ダム管理所

受注者:一般社団法人 パブリックサービス



**長嶋 洋司**  
2018年入社

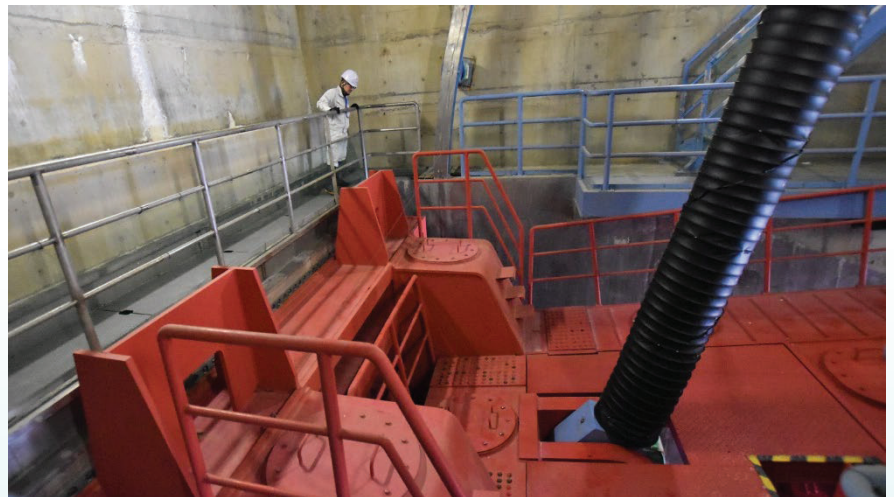


## ＜工事(業務)の目的及び概要＞

本業務は、長島ダムの適性な管理を行うため、ダム、貯水池及び関連施設等に関する操作、監視、河川巡視、資料作成、情報連絡等、管理業務の支援を行う業務です。

前職では現場管理に従事し、2018年4月に入社後、ダム管理支援業務に携わっています。

プライベートでは、海釣り、溪流釣り、畑、車と日々充実して過ごしています。



**ゲート部の巡視状況**

## ・現場での私の役割

主にダムの操作・監視・河川巡視・資料作成等の仕事を行っています。  
ダム管理支援は24時間体制で監視・操作を行い、洪水期にはダム湖の水位維持・放流操作支援を、昼夜問わず行っています。

## ・建設業を選んだ理由

地域に貢献したい思いが強く、工事等に携わってきました。建設コンサルは、社会資本の整備を土台から支えるやりがいのある仕事だと思います。

## ・未来をつくる若手技術者の皆様へ

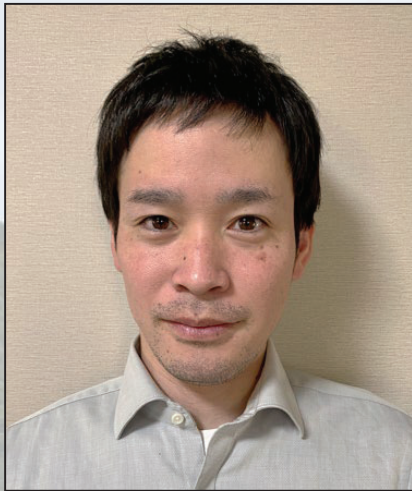
昔は3K(きつい・汚い・危険)とイメージされていた建設業ですが、近年では週休2日制や有給休暇の取得が増え、福利厚生も充実してきて、仕事とプライベートの両立がしやすい環境になっています。

ICTが進み、若手が活躍するチャンスが多くなっている今、ぜひ建設業へ!

# 令和3年 長島ダムフォローアップ資料整理業務

発注者:長島ダム管理所

受注者:一般財団法人水源地環境センター



伊藤 拓也  
2020年入社

2015年4月に福岡の建設コンサルタント会社に入社。入社後は主に電線共同溝設計業務に従事し、その後、河川関係の部署へ異動。

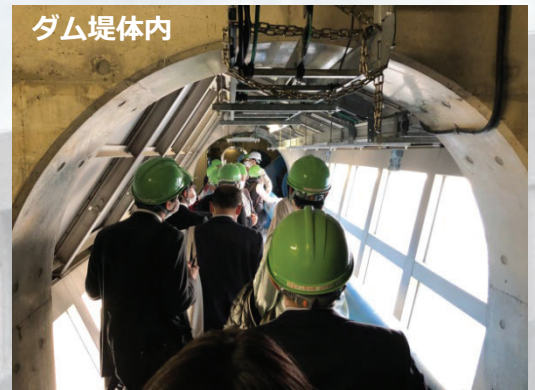
2020年7月に水源地環境センターへ出向。全国のダムを対象に、ダム管理に関する業務に携わっています。

## <業務の目的及び概要>

この業務は、長島ダムの管理及び事業に関わる各種調査結果を科学的に分析・評価し、「ダム等管理フォローアップ委員会」における資料（長島ダム定期報告書）を作成する業務です。また、委員会や、長島ダム現地を視察する「現地検討会」を円滑に進めるための運営補助も行いました。



長島ダム



現地検討会実施状況①



令和3年度中部地方  
ダム等管理フォローアップ委員会



現地検討会実施状況②

## ・現場での私の役割

長島ダムの管理や事業に関わる各種データ（治水利水、堆砂、水質、生物、ダム水源地域に関する情報）のとりまとめや、委員会等の運営資料作成などの運営補助を行いました。

## ・建設業を選んだ理由

私は、多くの主体と関わりながら一つのものをつくり上げていくことに魅力を感じて土木・建設業界を選びました。また、プライベートではなかなか行かない場所（現場）へ行けることも、この業界の大きな魅力だと思っています。

## ・未来をつくる若手技術者の皆様へ

ダムをとりまく幅広い分野のデータを分析・評価し、学識者の方々の意見も踏まえて将来的なダム管理の方向性を考える仕事です。

ダムは多くの役割を持っており、地域社会へ貢献をしています。学生のみなさんも、身近にあるダムに訪れてみてダムについて知って頂ければと思います。